カリキュラム区	カリキュラム区分 4カリ			シラバス区分	学部生					
科目区分	科目コード	履修時期	開講学科	選択区分	科目名(上段:和名、下段:英名)	時間	単位			
		学年 学期								
共通教育科目	110	1年 後期	看護学科	選択	Philosophy	30	2			
				担当教員						
山本 與志隆*										
			関連する[DPキーワード(看護学科)					
① 幅広い視	野と豊かな感性	生を身につけ、	人々の権利や意思	思を尊重した倫理	的な看護が実践できる。					
② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。										
③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。										
④ 看護の対	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。									
⑤ 地域社会	及び保健・医療	寮・福祉分野に	おける多職種と連	連携・協働し、看	護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけてい	る。				
⑥ 看護専門	職として、主体	体的・創造的に	継続学習に取り組	且む能力を身につ	かけている。					
⑦ グロー/	バルな視点で看護	護実践を科学的	に探究し、看護を	シ発展させる基礎	的能力を身につけている。					
			関連するDP	キーワード(臨	末検査学科)					
① 幅広い知	識・教養をもと	に、医学検査の	対象となる人を組	総合的に理解し、	その人の権利や意思を尊重することができる。					
② 医学的に	必要な専門知識	・技術を備え、	検査データを総1	合的に解析するス]を身につけている。					
③ 多職種間	で連携・協働し	ながら医学検査	至の専門家として	貢献できる力を身	引につけている。					
④ 医学検査	とそれぞれに関	連した幅広いた	分野の発展・向上の	のために、自らの)能力を高める自己教育力を身につけている。					
⑤ 科学的思	考力に基づき、	医学検査の進歩	・発展に対応で	きる学究的態度な	E身につけている。					
⑥ 医学検査	を通して、社会	の多様性に合わ	つせた貢献ができ	る基礎的能力を具	まにつけている。					
1				授業目的						
現代医学をも含む利とで、現代の諸問題					を理解するとともに、東洋的なものの見方考え方とり ^義 う	比較考察	するこ			
C C > 50 C > 16 14 14	SOUND CONST	リッと生肝し、	所以のり □ I I E /4	くてったる意及と	R / 0					
			到:	達目標(授業目	票)					
哲学が何を問題とし										
哲学と自然科学の関現代医学を含む科学		_ , ,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			•					
			授業計	十画(項目・内容	と方法・担当者)					
	何か:「哲学」	の原義と根本	生格と東洋の「思							
	f学(1):古代	(ギリシャにお	ける学知の成立							
	f学(2):古代	tギリシャにお!	ける学知の成立							
OEI			ける学知の成立							
70	. , 41									

5回	中·	世の哲学	1 (1) :ヘブ	゛ライ、	キリスト教に	おける創造の	の思想					
6回	中	中世の哲学(2):ヘブライ、キリスト教における創造の思想										
7回	近 [,]	近代の哲学(1):近代科学の成立と哲学の役割										
80	近 [·]	近代の哲学(2): 近代科学の成立と哲学の役割										
9回	近 [,]	近代の哲学 (3) : 近代科学の成立と哲学の役割										
10回	東:	東洋の思想(1):東洋的な自然観と人間観										
11回	東:	東洋の思想(2):東洋的な自然観と人間観										
12回] 現·	現代科学の諸問題(1):生命・身体・自然-機械論的自然観とその帰結										
13回] 現·	現代科学の諸問題(2):生命・身体・自然-機械論的自然観とその帰結										
14回	j ŧ	まとめ(1):哲学の今後の課題-現代の諸問題に即して										
15回	j ŧ	まとめ(2):哲学の今後の課題-現代の諸問題に即して										
16回]											
17回]											
18回]											
19回]											
20回]											
21回]											
22回]											
23回]											
24回]											
25回]											
26回]											
27回]											
28回]											
29回]											
30回]											
						成績	遺評価方法及び	基準				
期末レ	ポート	により評	平価する。60点	点以上を	合格とする。							
-	科書		ドストは使用も		ントを配付す	る。						
参考	図書等	授身	美中に適宜紹介	でする。	授業時間	間外の学習に	について(授業	生備のため	うの指示)			
授業時間外の学習について (授業準備のための指示) 授業中に配布するプリント、紹介した参考文献を読んでおく。												
							関連科目					
前科目	130	心理学										
後科目	101	科学論		129	生命倫理	20	3000000					
							実務家教員					
1	備考											